

## 「都市の品格」を更に高め、現在も、将来も「選ばれる自治体」をめざして

～「三鷹市自治体経営白書 2010」の発行にあたって～

このたび、平成 21（2009）年度における三鷹市の主な取り組みの進捗度と成果を明らかにした「自治体経営白書 2010」をとりまとめました。

三鷹市では、その自治体経営の現状を明らかにし、これからの自治体経営のあり方を市民の皆様とご一緒に考えていくために、平成 14 年から「自治体経営白書」の発行を始めました。それまで、他の自治体で「財政白書」や「行革白書」として、自治体の財政状況や行革の取り組み状況をまとめた「白書」はありましたが、基本計画や行財政改革の進捗状況と財政状況を包含した総合的な自治体経営に関する「白書」を発行した取り組みは初めてであり、今年で 9 年目となります。

さて、市制施行 60 周年を迎え、都市として成熟期を迎えている三鷹市は、今後の少子高齢化の一層の進行と共に、公共施設の一斉更新時代を迎えています。そこで、厳しい財政状況も予想される中で、「選択と集中」による政策の確かな選択による、持続可能な自治体経営を推進していかなければなりません。

そして、平成 22（2010）年度は、「第 3 次基本計画」や 20 を超える個別計画が目標年度を迎えるため、全庁的に、未来に向けた新しい計画づくりにスタートする年となります。そのような中で、私は平成 22 年度の施政方針において、「市制施行 60 周年を迎え、都市再生・コミュニティ創生を目指して、持続可能な高環境・高福祉のまちづくりの推進を」と題して、三鷹市の「都市再生」とともに、新たな地域の支え合いや協働で「コミュニティ創生」を進めていくことを掲げました。また、平成 21 年度の施政方針では、「景気のみならず左右されない、毅然とした『品格』のあるまちづくり」を進めていくことの重要性を述べました。

すなわち、本格的な少子高齢化や人口減少時代を迎える中で、三鷹市が魅力的な施策の展開を図り、現在も、将来も、人や企業から「選ばれる自治体」となり、三鷹市でいきいきと活動していただくためには、都市再生とコミュニティ創生を目指したまちづくりを進めていく必要があります。それは、同時に、三鷹市の自治体としての「品格」の向上をもたらし実践でもありたいと考えます。

幸い、今年度の自治体経営白書の巻頭論文をお願いした東京工業大学の中井検裕先生からは、「『公園都市』三鷹を考える～品格のある風景づくりにむけて～」という論題でご寄稿いただきました。これから、「第 4 次基本計画」の策定とともに、「土地利用総合計画」の改定や「風景づくり計画（仮称）」の策定などを進める三鷹市にとって、時機に合った論考をお寄せいただいたと思います。

この「自治体経営白書 2010」が、市民の皆様とご一緒に、これからの三鷹市の自治体経営のあり方を考える資料として活用されるとともに、未来に向けた新しい計画づくりにおいて、三鷹市の「品格」を更に高め、現在も、将来も「選ばれる自治体」になるための取り組みを進める基礎の一つになれば幸いです。

平成 22（2010）年 7 月

三鷹市長 清原慶子

# 三鷹市自治体経営白書 2010 目次

『『都市の品格』を更に高め、現在も、将来も『選ばれる自治体』をめざして』

三鷹市長 清原 慶子

「三鷹市自治体経営白書 2010」の構成

## 特別寄稿

『『公園都市』三鷹を考える～品格ある風景づくりに向けて～』……………	2
東京工業大学大学院 社会理工学研究科社会工学専攻教授 中井 検裕	

第Ⅰ章 基本構想で定める「自治体経営の基本的な考え方」に基づく取り組み	平成 21 年度	
1 「三鷹の森 科学文化祭」の実施について……………		12
2 住基カードの無料交付とコンビニエンスストアを活用した住民票等の交付……………		14
3 「星と森と絵本の家」の開館と運営……………		16
4 家庭系ごみ有料化の実施によるごみの減量・資源化の推進……………		17
5 市街地に初の自転車道整備と幼児 2 人同乗用自転車レンタル事業……………		19
6 コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育校の全市展開……………		21
第Ⅱ章 第 3 次基本計画（第 2 次改定）の達成状況	平成 21 年度	
1 概要説明……………		26
2 第 3 次基本計画（第 2 次改定）全 35 施策の達成状況……………		27
3 平成 21 年度事業評価 評価結果概要……………		63
4 第 4 次基本計画及び個別計画の策定等に関する基本方針……………		69
第Ⅲ章 「各部の運営方針と目標」の達成状況	平成 21 年度	
1 企 画 部……………		76
2 総 務 部……………		83
3 市 民 部……………		88
4 生活環境部……………		92
5 健康福祉部……………		98
6 都市整備部……………		106
7 水 道 部……………		114
8 教育委員会……………		117
第Ⅳ章 行財政改革アクションプラン 2010 の達成状況	平成 21 年度	
1 概要説明……………		126
2 行財政改革アクションプラン 2010 の達成状況……………		127
（1）主要な財政目標の達成状況	平成 20 年度	127
（2）主な最重点課題の達成状況一覧……………		128
（3）主な重点課題の達成状況一覧……………		130

(4) 主な推進課題の達成状況一覧	141
(5) 行財政改革アクションプラン2010の実施による財源効果《参考》	153
(6) 2009年ベストプラクティス表彰及び平成21年度職員提案表彰の結果	153
(7) 新たな行財政改革推進計画の策定に向けた基本方針	155

第V章 三鷹市の財政状況 平成20年度

1 決算統計と普通会計	162
2 決算額の推移から見た特徴点(平成11年度～平成20年度)	162
3 平成20年度決算の特徴点	165
4 決算カードによる財政状況検証のポイント	165
5 財政指標	170
6 財政比較分析表	177
7 歳出比較分析表	183
8 財政状況等一覧表	188
9 財務諸表	189
(1) バランスシート	189
(2) 行政コスト計算書	191
(3) キャッシュ・フロー計算書	192
10 地方公共団体財政健全化法	195

別冊 資料編(目次)

第I章 平成21年度事業評価の結果	1
第II章 三鷹市の財務諸表(詳細版) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">平成20年度</span>	
1 バランスシート(普通会計)	234
2 行政コスト計算書	246
3 市全体のバランスシート	254
4 連結バランスシート	260
5 キャッシュ・フロー計算書	264
資料(普通会計バランスシート)	268

## 「三鷹市自治体経営白書 2010」の構成

<b>特別寄稿</b>
公園都市三鷹の実現に向けた課題について、中井 検裕 東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻教授による解説・分析を掲載しています。
<b>第Ⅰ章 基本構想で定める「自治体経営の基本的な考え方」に基づく取り組み</b>
基本構想に定める自治体経営の基本的な考え方に則った施策展開の事例について、平成 21 年度の取り組みとして「『三鷹の森 科学文化祭』の実施について」など 6 事業について掲載しています。
<b>第Ⅱ章 第3次基本計画(第2次改定)の達成状況</b>
平成 20 年 3 月に確定した第 3 次基本計画(第 2 次改定)の達成状況について、全 35 施策の進捗状況及び成果について説明しています。また、計画に掲載する主要事業等の個別事業の取り組み状況及び成果に関して、平成 21 年度事業評価結果の概要を掲載しています。さらに、第 4 次基本計画策定に向けた基本方針を掲載しています。
<b>第Ⅲ章 「各部の運営方針と目標」の達成状況</b>
「各部の運営方針と目標」の達成状況を掲載しています。「各部の運営方針と目標」は、① 部の使命・目標に関する認識、② 職員数、予算規模等の部の経営資源、③ 部の実施方針及び個別事業の目標等で構成されています。平成 21 年度の達成状況については、個別事業とその目標の実績について取りまとめています。
<b>第Ⅳ章 行財政改革アクションプラン 2010 の達成状況</b>
平成 17 年 3 月に確定した行財政改革アクションプラン 2010 の平成 21 年度までの取り組みについて説明しています。また、行財政改革アクションプラン 2010 による平成 20 年度の財源効果や、2009 年ベストプラクティス（市長表彰）の結果等についても掲載しています。さらに、新たな行財政改革推進計画策定に向けた基本方針を掲載しています。
<b>第Ⅴ章 三鷹市の財政状況</b>
平成 20 年度までの決算データをもとに、三鷹市の歳入・歳出等に関する財政状況を「類似団体」との比較も踏まえて説明をするとともに、平成 20 年度の財務諸表の概要版としてバランスシート、行政コスト計算書、キャッシュ・フロー計算書を掲載しています。また参考として、地方公共団体財政健全化法について掲載しています。
<b>別冊 資料編</b>
平成 21 年度事業評価の対象である 115 事業の評価表全件を掲載するとともに、平成 20 年度の財務諸表（詳細版）としてバランスシート（普通会計）、行政コスト計算書、市全体のバランスシート、連結バランスシート及びキャッシュ・フロー計算書を掲載しています。